

豊明市文化財保護委員会会議録

日 時：平成25年4月5日（金）午後1時30分から

場 所：豊明市役所分庁舎

出席者：浅井委員、成田委員、三浦委員、相場委員、村野委員、佐野委員
鈴木委員

事務局：教育部長、生涯学習課長、生涯学習課長補佐、岸田専門員

傍聴人：なし

1 あいさつ

教育長

2 議題

(1) 委員長の選出について

浅井常典委員を選出

(2) 副委員長の選出について

委員長の指名により佐野委員を副委員長とする。

(3) 平成24年度 文化財保護事業報告について

平成25年度 文化財保護委員会事業計画について

- ・将来的に市指定となるような近代和風建築の調査・検討を進めていくにあたり、まずは基準づくりを行う。残しておきたい建物を10箇所ほど探し話を進めていきたい。
 - ・市と協定を結ぶ豊明二村山自然観察会の保全整備計画の一つとして開催する大狭間湿地写真展について俳句、小学生の部の作品（写真）や絵を展示することについて承認を得る。
- #### (4) ナガバノイシモチソウ・大狭間湿地の一般公開について
- ・8月3日（土）～5日（月）のナガバノイシモチソウ一般公開のうち、3、4日は大狭間湿地の一般公開を同時に行う。
 - ・次世代をになう子どもが広報活動できるアンケート作りを行う。
アンケートの意見は簡素化（どこから来たか、年齢、目的）し、希望についても書いてもらうようにする。
 - ・市の職員にも大狭間湿地や二村山の自然の大切さを知ってもらい、自然の中で学べる場があることを見ていただくとよい。
身近なところで学校教育の場に生かしていただきたい。
 - ・公開スタッフとして豊明高校や愛知教育大学の学生の協力をお願いしたい。
なお、9月1日（日）についてはスタッフが不足するため委員の協力をお願いしたい。

(5) 視察研修について

湿地の管理・とりくみについて話を聞く機会を入れるとよい。

また、同規模の市町で街道沿いの文化財的なもの（民具）を保護しているところを探し、10月か11月に視察を予定する。

7月の委員会にて2案を提出する。

3 協議事項

広報特集として学名変更（*Drosera indica* L.から *Drosera toyoakensis* M.Watanabe へ）に伴うナガバノイシモチソウ関連記事を6月号で掲載することで承認を得る。なお、執筆に際しては浅井委員、愛知教育大学渡邊教授の協力をいただく。平易に小中学生向けに分かる内容が好ましい。

4 報告事項

愛知教育大学渡邊教授の遺伝子解析によって日本固有の新種であることが発見されたナガバノイシモチソウの新聞掲載記事を報告。

その他

◎イシモチソウのPRについて

- ・イシモチソウを活用した豊明市のPRについて諮問した結果、積極的にPRすべきとの答申を得た。
- ・リーフレットを多めに作り学校に配布するなど全市的に知らせるとよい。この場合、名前の統一（紅花か赤花）をすること。
- ・豊明の花は「ひまわり」であるが自生していないので「ナガバノイシモチソウ」に変更するとよい。
- ・中京競馬場に看板を設置するとよい。
- ・現在、観光協会によって設置されている湿地の看板について教育委員会の名前を入れてほしい。
- ・小中学生が道路側から説明看板を見る際に車が通り危険である。別の場所にも小学生が見れる高さの説明看板を新設するとよい。

次回文化財保護委員会 25年7月19日(金) 13時30分から